

MS-06FZ ザクII改(バーナード・ワイズマン機)

相剋の軌跡 / エクステンションブースター

UNIT

U-139 緑 1-1-1 R

【1枚制限】

(ダメージ判定ステップ)：《(1)》このカードにキャラクターがセットされている場合、このカードを廃棄する。その場合、このカードと交戦中の敵軍ユニット1枚を破壊する。

宇宙 地球 [2][0][2]

原作最終話にて、バーナード・ワイズマンがガンダムNT-1に決戦を挑んだ際に搭乗したザクII改

。キャラクターのセットを条件に、敵軍ユニットと相討ちをとる能力を持っている。

能力は、廃棄にカットインしても良い。戦闘ダメージでユニットAと相討ちをとった後、能力でユニットBを破壊と、プロトタイプガンダム《CB1》の様に動ければベスト。

ザクII《BB1》・ザクII改《BB2》と比べて、相討ち能力のメリットと1枚制限のデメリットがあるだけで、それ以外の基本性能は同じである。つまりデッキに1枚だけ採用されている分には、能力を持つ分だけ上位互換として扱える。

ミラーマッチの場合においては、相手に先に出された場合に1枚制限がデメリットとなるが、逆の立場では相手のこのカードを封じるというメリット要素も内包している。

以上の理由により、ザクII《BB1》などが採用されていた時代の緑ウィニーには、まず間違い無く1枚は採用されていた。

ザクII《BB1》は採用され難くなった現在でも、格上と相討ちを取る能力というのは貴重であるため、同様に採用されている事は珍しく無い。

- 自身を廃棄するこのカードに対して、バーナード・ワイズマン《EB1》は破壊を無効にする効果を持っている。せっかくの専用機のセットだが、能力の相性はそれほど良く無い。
 - 「相剋の軌跡」版のイラストは、原作にしたがって左腕がもげている。しかし「エクステンションブースター」版のイラストは、両腕がしっかり生えている。
-